



郷土の先覚者

— 明日を拓いた佐賀の人 —

この本を読むみなさんへ

みなさんは、この佐賀県に、郷土や日本をささえ、世界にはばたいたすばらしい人々がたくさんいることを知っていますか。

わたしは、子どもころに学校の先生や地域のおとしよりからこのような人々のことを教わったり、本で読んだりして、たいへん感激したことをおぼえております。

幕末から明治、大正、昭和にかけて、佐賀県からは世の中の行く先を見ぬき、また、人のために生きたすばらしい先輩がたくさんでました。

みなさんが、この本のなかから先輩たちが考えたことや生き方などを知ることが、みなさんの一生にとって大きな道しるべとなるものだと思います。

また、この本によりみなさんが社会科への興味や関心をもち、郷土をよく知り、そして、郷土を誇りに思い、郷土の発展をささえる人になってくれることを心から願っています。

平成五年三月

佐賀県教育委員会 教育長

堤

清

行

この本を読むにあたって

「そういえばあそこに記念碑があるけど、どんなことをした人の記念碑だろう。」

「この人の名前、聞いたことあったけど、私と同じ町出身の人だったのね。」

みなさんは、今までにそんなことを思ったことはありませんか。

わたしたちは、「今」を生きていますが、今の世の中をつくったのは、私たちの祖先です。この人たちの中には、国の政治を行った人もいれば、郷土でたゆみなく地道に努力した人もいます。私たちは、このような祖先の人たちのことを忘れてはいけません。

この本では、「郷土の先覚者」ということで、江戸時代の終わりごろからあとに生まれた十八名の方々を取り上げています。その方々は、

- ・ 郷土を愛し、郷土のためにつくした人
 - ・ 郷土の人々から尊敬され、今でも語りつがれている人
 - ・ 「国際化」や、「女性の社会進出」など、今の社会の動きを先どりしたような人
- などです。

この本を読んで、友だちや家の人と郷土の先輩について、いろいろなことを話し合ってみてください。また、わが国や郷土のためにがんばった人々について、さらにくわしく調べてほしいと思います。



平成五年三月

編集執筆委員長

佐賀大学教育学部

教授

杉

谷

昭